

済生利民 Saisei Rimin



No.32
2025年10月



特集 泌尿器科	2・3
教えてドクター	4
新任部長・診療科のご紹介 看護部	5
リソースナースのご紹介	6・7
病院探検隊 救急総合診療科	8

お産入院 新サービスのご案内	9・10
インスタグラムはじめました	10
開放型病院登録医紹介	11
健康講座のご案内／あったか茶論のご案内	12



泌尿器科 主任部長 かきもと けんいち 垣本 健一

泌尿器科とは後腹膜臓器や男性生殖器の診断・治療を行う診療科です。後腹膜臓器には、尿に関わる臓器である腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道に加えて、ホルモン分泌に関わる副腎があります。男性生殖器とは精巣、陰茎、陰のうを指します。

泌尿器科ではこのような臓器に発生する病気に対して外科的および内科的治療を行っています。

特集

泌尿器科

泌尿器科とは

1 がん

①前立腺がん

男性で最も多いがんです。進行が比較的ゆっくりで早期は無症状のことが多い病気です。

②膀胱がん

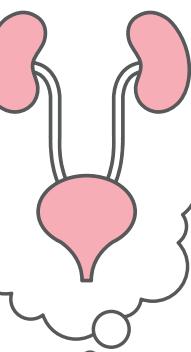
肉眼的血尿で発見されやすいことが特徴です。再発しやすいため、継続的な経過観察が必要な病気です。

③腎臓がん

早期では自覚症状が少なく、検診や画像検査で偶然発見されることが多い病気です。

④腎盂・尿管がん

肉眼的血尿で発見されやすく、比較的進行の早いがんです。膀胱にも再発しやすい病気です。



2 尿路結石症



腎臓や尿管など尿路に結石ができ、激しい腰背部痛や血尿を引き起こす病気です。

自然に石がない場合は、石を碎く手術を要することもあります。
また再発しやすいことも特徴です。

3 前立腺肥大症

加齢により前立腺が大きくなり、尿道を圧迫して排尿困難や頻尿を起こす良性の病気です。

進行すると腎機能障害を招くこともあります。薬物治療や手術で治療します。

4 過活動膀胱

尿意切迫感を主症状とし、頻尿や夜間頻尿、切迫性尿失禁を伴うことがある状態です。

原因はさまざまですが、生活の質を下げるため、行動療法や薬物治療で改善を図ります。



こんな症状には注意!!



血尿

(肉眼的にわかる)

血尿はシグナルといわれています。原因として膀胱がん、腎臓がんなどの悪性腫瘍、尿路結石、膀胱炎等の炎症などがあります。なるべく早く泌尿器科を受診してください。

尿が出にくい

(きばらないと出ない)

男性では前立腺肥大症が原因となっていることが多いです。また男女問わず、膀胱の神経異常をきたしている場合もあります。放置すると腎不全になることもあるので、泌尿器科受診をお勧めします。



腰・背中の痛み

原因としては骨や筋肉のいわゆる整形外科的疾患の頻度が最も多いです。しかしそう決めつけるのはよくありません。尿路結石症の痛みの可能性や骨の転移病変の痛み(前立腺がんは骨への転移の頻度が多いです)の可能性もあるので泌尿器科受診も選択肢に入れてください。

3人の常勤スタッフと2人の非常勤スタッフ
(外来診療担当)で日々診療させていただいています。当院は地域医療支援病院かつ地域がん連携拠点病院です。内科も充実しており合併症の多い患者さんでも病院内でスムーズに連携して、円滑に泌尿器科治療ができる病院です。
患者さんに寄り添った高度で安全な治療を提供させていただきます。
どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



地域の皆様へ

常に最新のエビデンスを確認し最良の医療を患者さんに提供できるように、学会・研究会にも積極的に参加し情報を収集する努力を行っています。

さまざまな疾患に対して外来診療、手術、放射線治療、抗がん剤などの薬物治療を適切に使いながら治療をしています。病気を治すことによって、QOL(生活の質)を保つことにも注意を払っています。とりわけ手術においては患者さんの身体への負担が少ない低侵襲手術(ロボット支援手術、腹腔鏡下手術)を積極的に行っています。



- スタッフ紹介**
- 主任部長 垣本 健一 (専門: 泌尿器科腫瘍/泌尿器科一般)
 - 副部長 淀 のり子 (専門: 泌尿器科一般/女性泌尿器科一般)
 - 医長 朝倉 寿久 (専門: 泌尿器科一般/結石)

泌尿器科のご案内	月	火	水	木	金
8:30~11:30	●	●	●	●	●

- 前立腺がん、小さな腎臓がん、腎盂尿管がん、浸潤性膀胱がんに対するロボット支援手術の保険適用があります。従来の手術方法に比べて、出血量の減少、機能温存に関して非常に有利です。その他のメリットとしては、
- 手術後の回復が早く入院期間が短くなる傾向がある
- 傷口が小さいので、術後の痛みが少なく感染のリスクも低減できるなどがあります。

当科での取り組み

ロボット支援手術

教えてドクター

～こんな症状にはどうすればいいですか？～

夜中に何度も尿意を感じて トイレに行くので ぐっすり眠れません。

(75歳・男性)

泌尿器科 主任部長

かきもと けんいち
垣本 健一

はじめに

夜間頻尿は「夜間に排尿のために1回以上起きなければならない」という状態であり、下部尿路症状の中で最も多い症状です。年齢とともに有症率（症状がある方の割合）は上昇し、70～80歳代の方では7～9割に症状があると報告されています。

原因

夜間頻尿の原因は、多尿（尿の一日の合計量の増加）、夜間多尿（夜間のみ尿量増加）、膀胱蓄尿障害（膀胱の容量減少）、睡眠障害に大別され、これらの要因が単一であるいは複数で関与していると考えられています。夜間多尿が原因として最多で、夜間頻尿患者の約8割に夜間多尿が存在するという報告もあります。夜間多尿は水分の過剰摂取や加齢による抗利尿ホルモン（尿量を減らすホルモン）分泌の変化、高血圧、心不全・老化による心機能の低下、薬剤性（利尿薬など）といった原因があります。

影響

夜間頻尿の存在はQOL（生活の質）の低下や睡眠障害はもちろんのこと、うつ病の増加や転倒・骨折率の増加、死亡率の上昇にまで関与するといわれています。特に、夜間排尿回数が2回以上の場合は深刻な影響がでるとされており改善が必要です。

治療

原因に合わせた治療が必要であり、原因検索のためには排尿日誌が重要となります。排尿日誌とは、患者さん自ら、排尿をした時間とその尿量を3日間記録するというもので、日誌からは頻尿はもちろんのこと夜間多尿、多尿、膀胱容量の低下など診断することができます。その他は必要に応じて採血、検尿、エコー検査などを行います。

●行動療法

ガイドラインでは第一選択（最も優先されるべき治療）です。1日の尿量が20～25mL/kgとなるような飲水制限や夜間の飲水、アルコール、カフェイン摂取の制限、塩分制限や夕方の運動、禁煙などが推奨されています。

●薬物治療

前立腺肥大症の薬（男性の場合）や頻尿改善の薬、夜間の尿量を減らす薬、利尿薬、睡眠薬などが用いられます。

場合によつては手術などが検討されることもあります。（例：前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術、骨盤臓器脱に対するメッシュ使用術など）

終わりに

夜間頻尿は不眠だけではなく精神病や骨折、死亡率にも関わる重要な疾患です。患者さんそれぞれにあつた治療が可能ですので、症状がある方はお早めにご相談ください。

新任部長・診療科のご紹介

看護部

岡田 知子
おかだ ちこ
部長



2025年4月1日付けで看護部長として着任しました岡田知子と申します。私は、大阪府立病院機構で長らく経験を積み、昨年3月に退職しました。その後、短い期間ではありますが日本看護協会神戸研修センターで看護管理者の育成に携わって参りました。全国の看護管理者の頑張りを見聞きし

「やっぱり現場が楽しかったな」と思っていた頃にお声をかけて頂き、縁あって日本生命病院にお世話になることとなりました。歴史ある病院の一員として、気持ち新たに病院と地域医療の発展に貢献する所存です。

前任の大坂はびきの医療センターで看護部長として過ごした最後の5年間は、100年に1度の感染症パンデミックと40年に1度の新病院移転という大きな出来事に遭遇し、貴重な経験をさせて頂きました。また、同時期に大阪府看護協会支部理事という役割を担い、他施設の看護管理者や地域医療・介護を担う他職種の方々と交流を持つ中で、地域における自施設の役割と連携の重要性を実感させられた5年間でした。

医療を取り巻く環境は急激に変化し、超高齢化、生産人口減少という状況の中で「新たな地域医療構想」が検討されています。当院が位置する大阪市西部は全国でも珍しい人口増の地域で、まだ地方ほど厳しさを実感することは少ないかもしれません、しつかりと未来を見据えて地域の医療・介護連携の

強化に取り組みたいと思います。当院の魅力は「済生利民（生命や生活を救い、人々のお役に立つこと）」という理念が職員一人一人に浸透しているところです。これまで先輩たちが培ってきた歴史を大切にしながら、新たな価値を創造し、患者さんや地域の方々の「お役に立つ」看護部を作っていくたいと思います。その第一歩として、当院の人的資源を活用して「専門・認定看護師による相談窓口」を設置しました。同行訪問やコンサルテーションなど活動を広めていく予定ですので、お困りのことがありましたらご相談ください。



●認定看護師にご相談ください



日本生命病院で活躍する専門看護師・認定看護師

老人看護専門看護師

高齢の方がその人らしく、安全で快適な生活を送れるよう支援する看護師です。病気や体の変化に応じたケア、生活の工夫、家族への支援を行います。

感染管理認定看護師

病院内の感染を予防し、安心して医療を受けられる環境を整える専門の看護師です。感染経路の遮断や衛生管理、正しい知識の普及を通じ、安全な療養を支援します。

皮膚・排泄ケア認定看護師

褥瘡(床ずれ)、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)、失禁など皮膚や排泄に関する問題に専門的に対応する看護師です。予防から管理、指導まで行い、生活の質の向上を支援します。

救急看護認定看護師 クリティカルケア認定看護師

緊急の治療が必要な方に対し、迅速かつ的確に対応する専門の看護師です。救命処置から重症患者さんのケア、ご家族への支援までを行い、安心して治療を受けられるように支えます。

認知症看護認定看護師

認知症のある方とご家族に寄り添い、安全で安心できる生活を支援する看護師です。症状に応じた対応や環境づくりを行い、本人らしく過ごせるよう支えます。

手術看護認定看護師

手術を受ける患者さんが安全・安心して手術に臨めるよう、専門的な知識と技術を持つ看護師です。手術前から手術後まで一貫して患者さんに寄り添い、不安の軽減や合併症の予防に努めます。

糖尿病看護認定看護師

糖尿病の正しい治療や生活習慣の支援を行う専門の看護師です。合併症の予防や自己管理の方法と一緒に考え、安心して療養生活を送れるようサポートします。

がん化学療法看護認定看護師 がん薬物療法看護認定看護師

抗がん剤や分子標的薬による治療を受ける患者さんに對し、副作用の予防・対処や生活支援を行い、専門知識と技術で安心・安全な治療継続を支えます。副作用への対応など不安を和らげながらサポートします。

緩和ケア認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師

がんや慢性疾患による苦痛を和らげ、生活の質を保てるよう支援する看護師です。身体のつらさだけでなく、心の不安やご家族へのサポートも行います。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

食べる・飲み込むことに困難を持つ方に対し、安全に食事ができるよう支援します。食事形態の工夫やリハビリ、誤嚥の予防を行い、安心して食べる楽しみを守ります。



看護外来・看護相談のご案内

看護外来・看護相談は、患者さんやご家族が安心して療養生活を送れるよう、看護師が専門的な視点からサポートする窓口です。専門的な知識や技術をもった看護師(専門看護師、認定看護師、特定看護師)が病気や治療に関する不安、日常生活での困りごと、退院後のケアや介護の相談など、医師の診察とは異なる角度から、支援します。また、必要に応じて医師をはじめ多職種での連携を図りながら、患者さんとご家族をチームで支えていきます。看護外来は予約制の場合が多く、事前にお問い合わせいただくとスムーズです。患者さんの「困った」「どうしたらいい?」に寄り添い、安心と納得の医療を支える場としてご利用ください。

リソースナース のご紹介



日本生命病院の専門看護師

リソースナースとは、特定の看護分野で高度な教育や研修を受け、専門看護師・認定看護師・特定看護師などの資格を持つ看護師です。院内外で専門知識と技術を活かし、看護職員や医療従事者への教育・啓発を行うほか、必要に応じて患者さんへの直接ケアも担当します。

当院には10分野14名のリソースナースが在籍しており、新人教育や医療チーム全体の技術向上、複雑な症例への対応などを通じて、質の高い看護を支えています。スタッフと患者さん双方から信頼される、重要な存在です。

専門看護師

専門看護師とは、特定の分野で**卓越した看護知識と技術を持つ**、看護のエキスパートです。実践だけでなく、**看護師への教育、論理的な問題解決、研究**など多岐にわたる宅割を担い、看護の質の向上をけん引する専門家です。

認定看護師

認定看護師は、ある分野に特化して深い知識と技術を身につけた看護師です。たとえばがん看護、皮膚・排泄ケア、感染管理など、**専門性を活かして患者さんやご家族を支えます**。日常生活の工夫や不安への相談にも応じ、安心できる療養生活を一緒に考えてくれる存在です。

特定看護師

特定看護師は、医師の指示のもとで**高度な医療行為を行えるよう**、特別な研修を受けた看護師です。点滴の管理や処置、検査の補助など、医療の現場で専門的に活躍します。患者さんにとっては、**医師と連携しながら迅速で安全な医療を受けられる心強い存在**です。

私たちは、地域の皆さんのが安心して看護を受け続けられるように、地域での支援活動をさらに広げていきます。あわせて地域の医療機関や介護施設への「相談窓口」を設け、気軽にご相談いただける体制を整え、より質の高い看護の提供をめざして取り組んでいます。

専門看護師・ 認定看護師



調整



あわせたかサポートセンター
認定看護師
オヤマサチコ
小山 佐知子

依頼



介護施設



訪問看護
ステーション

調整

依頼



地域の医療機関

病院～救急総合診療センター～

探検隊

仕事紹介

救急総合診療センターでは、「体調の急な変化」「けが」など様々な症状の患者さんを、二次救急病院として24時間体制で受け入れています。救急処置室にはストレッチャーが3台に入るスペースを設けており、迅速に処置がおこなえます。また、診察室が3室、点滴室(経過観察エリア)にはストレッチャーを3台備え、落ち着いた環境で診察をおこない、経過観察をしています。様々な病状に対応するために陰圧室を備えており、感染症を疑う症例にも安全に対応できます。救急で働く看護師として大切にしているのは、患者さんの痛みや苦痛が早急に緩和できるように医師・放射線技師・検査技師・臨床工学技士などの多職種と協働して、迅速に対応することです。また、患者さんやご家族に寄り添い、声かけをこまめにおこなうことで少しでも安心していただけるように努めています。これからも「地域のみなさまの命と健康を守る」ために、チーム一丸となって取り組んでまいります。



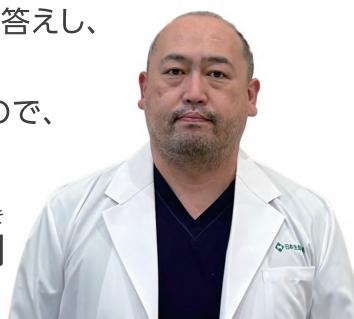
救急総合診療科 新任Dr 着任のご挨拶

このたび、日本生命病院に入職いたしました高野稔明と申します。これまで初期臨床研修終了後、救急医療および小児科領域を中心に臨床経験を積み、離島医療にも従事していました。様々な診療環境を経験する中で、患者さん一人ひとりに応じた柔軟な対応と、地域医療との連携の重要性を強く感じております。今後は救急総合診療部の一員として、地域の皆さまや医療機関からのご依頼に的確かつ誠実にお答えし、

質の高い急性期医療の提供に尽力してまいります。

微力ではございますが、職責を全うすべく精進してまいりますので、
何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

たかの としあき
高野 稔明





お産入院 新サービスのご案内

新しい命の誕生は、ご家族にとってかけがえのない喜びです。この大切な瞬間を、安心して迎えていただけるよう、このたび当院のお産サービスをさらに充実させました。これまで以上に、お一人おひとりに寄り添い、心の残るお産をサポートします。

食事サービス



お祝い膳

あわざ大食堂から夕食サービス



入院生活を良い思い出として残していただけるように、通常の食事以外に、特別食として院内レストラン(あわざ大食堂)からの夕食を提供しております。当院の管理栄養士が味、栄養、見映えのバランス考慮しながら監修したあわざ大食堂とのコラボメニューとなっております。

※ご出産の日程によってはご提供できない場合もございます。

ティータイムの導入



出産後に一息ついて、出産や授乳での疲れを癒やしてください。

総合病院なので食事は期待していなかったのですが、味もボリュームも大満足でした。

お料理を温かいまま出していただけたのも嬉しかったです。

産声カードがすごくうれしかった!

はじめての出産で不安でしたが、スタッフの皆さんに親切に対応していただきました。お産の準備セットなども助かりました。

特典・プレゼント

● お産準備セット

産後に必要な各種ケア用品をバッグに入れてプレゼントしています。

※セット内容は場合によっては変更となることがあります。



● 脇帯桐箱



● 産声と足形、写真入りのメッセージカード



● 出産記念フォト(ニューボーンフォト)サービス



「キッズ時計クラブ」と提携し、新生児撮影サービスを提供しております。

産着姿を撮影する無料コース、かわいい衣装とかわいいセットの中で撮影するオプションコースをご用意しています。スマホから簡単にお申込みいただけます。

出産記念品のエプロンとスタイはとても可愛らしく、着られるようになるのが楽しみです。



病院からのお祝い品

MARLMARL**お食事エプロンとスタイのセット**

出産ギフトの人気ブランドであるMARLMARLからお食事エプロンとスタイのセットを退院時にご出産のプレゼントとしてお贈りさせて頂きます。

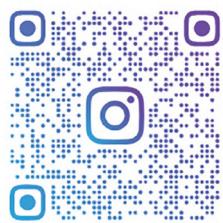
当院でのご出産の思い出と共に見た目の華やかなだけでなく長くご愛用していただけるもの選ばせていただいております。

可愛いクリア
BOXでお渡し！

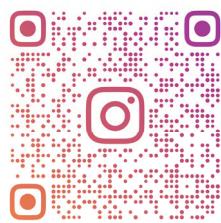
(日本生命病院 産婦人科)

日本生命病院からのお知らせ**日本生命病院公式インスタグラム
はじめました**

日本生命病院【公式】
インスタグラム



NISSAYHP



NIPPON_LIFE_HOSPITAL

日本生命病院
産婦人科【公式】
インスタグラム

日本生命病院【公式】と、日本生命病院 産婦人科【公式】の2つのインスタグラムを開設しております。
日本生命病院【公式】については、健康に関する情報、当院の様子や、イベント情報を発信予定です。
日本生命病院 産婦人科【公式】は、当院で出産された赤ちゃんの様子や、出産時のお部屋・持ち物等、出産にまつわる情報の発信もしております。
ぜひフォローいただけますと幸いです。

Team Nissay

登録医のご紹介

62



やまぐち 腎・泌尿器科クリニック

やまぐち ゆいちらう
山口 唯一郎先生 診療案内 泌尿器科・在宅緩和治療



患者さんひとりひとりに寄り添った、優しく、丁寧で、分かりやすい説明のもとに行う医療を心がけます。

やまぐち腎・泌尿器科クリニックでは、患者さんひとりひとりに寄り添った、優しく、丁寧で、分かりやすい説明のもとに行う医療を心がけます。

泌尿器科の悩みは他人に相談するのが恥ずかしいと思われていることが多い、なかなか受診できずに悩んでいる方が多いようです。些細なことでもまずは症状をお話し頂ければ、ともに解決の糸口を考えていきますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

当院では緩和医療を必要とする方の訪問診療も積極的に行ってゆきます。住み慣れた自分の家で治療を受けたい、自宅で苦痛のない生活を続けたいと希望する方に、定期的に自宅を訪問して投薬や処置などの治療を行い、基本的には24時間体制で在宅医療のお手伝いをさせて頂きます。



		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:30	○	○	○	/	○	△	/
午後	16:00~19:00 (受付18:30まで)	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜・土曜午後・日曜日

△：土曜午前は 13:00 まで

〒551-0003

大阪府大阪市大正区千島2丁目4-4 パルティちしま1階

TEL:06-6555-1218

ホームページ:<https://yamaguchi-uro.com/>

アクセス

バス利用の方

JR大正駅下車、鶴町・西船橋方面の市バスに乗って「大正区役所前」で下車。歩いてすぐです。

お車ご利用の方

駐車場（タイムズ）がご利用になります。駐車券をお持ち頂ければ診察後90分間無料になります。

日本生命病院の健康講座

日本生命病院では地域に根ざした開かれた病院を目指し、市民の皆さんへの健康情報の提供および病院の広報活動の一環として、健康講座を開催しています。興味のある方は是非ご参加ください。

健康イベント

「いい皮膚の日」

2025年11月7日（金）13:30～15:30

「糖尿病フェア」

2025年11月14日（金）11:30～13:30

30分でよくわかる健康講座

「もしかしてフレイル？」

■講師：栗波 仁美 ニッセイ予防医学センター長

2025年12月12日（金）14:00～14:30

「“ボチボチ”元気な超高齢者をめざして みませんか～老化のしくみ、病気のしくみ～」

■講師：笠山 宗正 名誉院長（特別顧問）

2026年1月16日（金）14:00～14:30

外来診療・受付時間

（再診の方は、必ず再来受付機に診察券を投入してください）

※診療科によっては、完全予約制や休診の日もあります。

詳しくは各診療科におたずねください。

平日（月曜日～金曜日）

	午前	午後
受付時間	初診 8:30～11:30	
再診	7:45～11:30	12:00～15:30
診療時間	8:45～	13:30～

※初診の場合は、紹介状をお持ちください。紹介状がない場合は、保険外併用療養費（選定療養費）7,700円がかかります。

休診日 土曜日、日・祝日、年末年始

 当院では病院敷地内全面禁煙となっています。
ご来院の皆様には、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



〒550-0006
大阪市西区江之子島
2丁目1番54号
TEL (06) 644-33-446(代)

●地域医療支援病院 ●大阪府がん診療拠点病院 ●(公財)日本医療機能評価機構認定病院

がん患者さん・ご家族のためのイベント

ニッセイ サロン あったか茶論 のご案内

がん相談支援センターでは、がんで治療や療養をされている（されていた）、患者さん・ご家族を対象に「ニッセイ あったか茶論」を月1回開催しています。

ミニ体験コーナー、相談ブース、情報・資料コーナーなどを通じて、患者さん同士や専門スタッフとの交流や情報提供を行っています。

お申し込み、参加費は不要です。参加・退出は自由ですので、お好きな時にご参加ください。

詳しくは院内掲示のポスターをご覧ください。



交通アクセス

●電車でお越しの方…

大阪メトロ「阿波座駅」下車⑦⑧⑩番出口より徒歩約5分（エレベーターは③④⑤番出口）

●バスでお越しの方…

大阪シティバス88系統・90系統「川口一丁目」下車徒歩4分、55系統「岡崎橋」下車徒歩8分

●お車でお越しの方…

本町通り沿い、北側正面より地下駐車場へ
※病院周辺の道路は終日駐車禁止です。

◆人間ドック

◆各種健診

※月～土曜日（完全予約制）

 ニッセイ予防医学センター

TEL 06-644-33-419(代)



日本生命病院あったかサポート通信
Saisei Rimin

2025年10月発行 No.32

発行元：地域医療総合窓口あったかサポートセンター